

学校訪問シリーズ 45

大分市立横瀬小学校から学ぶ



令和4年度 横瀬小 学校経営ビジョン(1学期)

豊かな人間性を持ち、自ら学び考え、未来に向かってたくましく生きる子どもの育成

めざす学校像 信頼される学校

望む子ども像 自ら学びが楽しくて、心豊かに育つ子ども

願う教師像 情熱と指導力のある教師

学校経営3つの柱

- ☆教職員・児童・保護者・地域が連携・協働して創造していく☆
- 児童が行きたいと思う学校(児童にとって楽しい学校)
- 保護者・地域が通わせたいと思う学校(安心・信頼できる学校)
- 教職員が勤めたいと思う学校(働き甲斐のある・楽しい学校)

学校経営の重点	達成指標	重点的取組	担当部	取組指標(誰が・何と・どのくらい)の程度)	4・5月	6月	7月	2学期の取組指標
豊かな学力の定着と自ら学ぶ子どもの育成	国・算・科の学力達成率(前年度)と比較し、各学年テスト2年連続で、3～6年次の結果は前年度を上回る。	「見直し」の徹底、「課題」がまとまり「振り返り」で学習内容を定着させる授業を実施し、「授業がわかる」に努める児童の割合(85%以上)	学習部	「課題」がまとまり「振り返り」を位置づけられるよう取り組む。 ノートに自分の課題や自分の考え、まとめたことを書く時間を毎時間5分以上確保する。	93%→91%	93%→87%	93%→87%	「課題」がまとまり「振り返り」を位置づけられるよう取り組む。 ノートに自分の課題や自分の考え、まとめたことを書く時間を毎時間5分以上確保する。
		自己表現を高める言語活動(ペア・グループワーク等)を1日に4回以上取り入れる。	学習部	ペアやグループ学習を効果的に取り入れる場面を想定して授業づくりをする。 特に活動の目的や方法を工夫し、効果を高める。 一人一人ステップアップした話し合いを促す。	93%→94%	93%→94%	93%→94%	ペアやグループ学習を効果的に取り入れる場面を想定して授業づくりをする。 特に活動の目的や方法を工夫し、効果を高める。 一人一人ステップアップした話し合いを促す。
		基礎基本の学習の定着を図るために、宿題の定着や読書の推進を図る。	学習部	「宿題」を授業の延長として取り入れる。 読書の推進を図るために、読書の取組を行う。	71%→75%			「宿題」を授業の延長として取り入れる。 読書の推進を図るために、読書の取組を行う。

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「豊かな人間性を持ち、自ら学び考え、未来に向かってたくましく生きる子どもの育成」を達成するため、植田西中学校校区の「小中9年間を見通した、自己表現ができる児童・生徒の育成」共通目標も取り入れながら、本校が目指す資質・能力を「表現力＝自分の考えを、相手にわかりやすく伝える(説明する)力」と定めています。

さらに、校内研究において①理由や根拠を明確にして自分の考えを持たせる ②友だちの考えと比較させ、深まりや広がりを持たせる ③発達段階に応じた振り返りをさせる 等、言語活動の充実を推進しています。

また、それぞれの取組指標に対して、毎月検証を行いながら改善を行っているため、職員も子どもも成長を感じることができ、さらに次への取組が焦点化されています。(上記参照)

授業から学ぶ

全15学級を参観させて頂き、どの授業でも本校が推進する表現力が発揮されていました。また、指導案のねらいも3文で書かれており、ふりかえりの視点も明確であるので授業の流れがよくわかりました。

今後は、指導案の「ふりかえり」を、教師が願う具体的なゴールの姿を子どもが表現するような言葉で書くことで、「ねらい」との連動や評価規準がより明確になると思いました。



NO.290 2022年10月 大分市立横瀬小学校

調べる方法

考えてもわからないことは、調べるしかない。調べる方法を知っていることは大切な。



NO.287 2022年10月 大分市立横瀬小学校

目で応援

発表者の方を向くのは、ルールだからではなく、優しさから。だから、安心して発言できる。



NO.286 2022年10月 大分市立横瀬小学校

自治力

人の意見は最後まで聴く。否定しない。共感的に聴く。学級の課題だから、みんなで考える。



NO.289 2022年10月 大分市立横瀬小学校

板書の目的

黒板に書いていることは、課題解決のヒントになる。友達に聞く前に、まずは自分で考える。



NO.288 2022年10月 大分市立横瀬小学校

伸びる

真っ直ぐに腕が伸ばして拳手をすると背筋も伸びる。心も伸びる。成長を感じる。